(株)東京環境測定センターニュース

(No. 239)

<工作物とは?>

「工作物」とは、建築物以外のものであって、土地、建築物又は工作物に設置されているもの又は 設置されていたものの全てをいい、例えば、煙突、サイロ、鉄骨架構、上下水道管等の地下埋設物、 化学プラント等、建築物内に設置されたボイラー、非常用発電設備、エレベーター、エスカレーター 等又は製造若しくは発電等に関連する反応槽、貯蔵設備、発電設備、焼却設備等及びこれらの間を接 続する配管等の設備等があります。なお、建築物内に設置されたエレベーターについては、かご等は 工作物ですが、昇降路の壁面は建築物です。

※ 令和2年10月28日付け基発1028第1号「石綿障害予防規則の解説について」より引用

<工作物石綿事前調査者について>

令和8年1月着工の工事から、工作物石綿事前調査者による事前調査結果報告が義務化されます。 特定工作物(反応槽、加熱炉、ボイラー、焼却設備、発電設備、配電設備、変電設備、配管、貯蔵施設) の解体、改修等工事前に必要な調査となっております。

<対象工作物及び事前調査の資格>

区分	対象工作物	事前調査の資格 (下記のいずれか)
特定工作物 石綿障害予防規則第4条の2 第1項第3号の規定に基づき 厚生労働大臣が定める物 (令和2年厚生労働省告示 第278号、一部改正令和5 年厚生労働省告示第89号)	 反応槽 加熱炉 ボイラー及び圧力容器 配管設備(建築物に設ける給水設備、排水設備、換気設備、暖房設備、冷房設備、排煙設備等の建築設備を除く。) 焼却設備 貯蔵設備(穀物を貯蔵するための設備を除く。) 発電設備(太陽光発電設備及び風力発電設備を除く。) 変電設備 配電設備 配電設備 	工作物石綿事前調査者
	① 煙突 (建築物に設ける排煙設備等の建築設備を除く。) ② トンネルの天井板 ③ プラットホームの上家 ④ 遮音壁 ⑤ 軽量盛土保護パネル ⑥ 鉄道の駅の地下式構造部分の壁及び天井板 ① 観光用エレベーターの昇降路の囲い (建築物であるものを除く。)	・工作物石綿事前調査者 ・一般建築物石綿含有建材調査者 ・特定建築物石綿含有建材調査者 ・令和5年9月までに日本アスベスト 調査診断協会に登録された者
特定工作物以外の工作物	上記(①~⑪)以外の工作物 (※)塗料その他の石綿等が使用されているおそれがある材料 の除去等の作業に限る。	